

家庭教育応援NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



親子の学び応援講座 ～荒海中学校区～

7月11日(金)、「親子の学び応援講座」を実施しました。親子の学び応援講座は、域内のPTAで開催する家庭教育講座に対して、講師選定や事務手続き、金銭等の支援をする事業です。今年度は、荒海小・中学校の児童・生徒・保護者を対象とした、情報モラル教育講演会への支援を行いました。

講演会では、西郷村で「けやき心の発達診療所」を開所されている角田智哉様を講師にお招きし、スマートフォンの利用に関する調査結果から見えること、インターネットや SNS のメリットやデメリット、付き合い方、脳や感情との関係などについて講演をいただきました。



○の中にはどんな数字が入ると思いますか？ ※ () 内の数字は調査年

あくまで海外の調査だそうです…

- ① 約〇%のユーザーが、携帯電話を家に置いておくと不安になる。(2020)
- ② 約〇%の学生が、授業中にスマートフォンに気を取られている。(2019)
- ③ 約〇%の労働者が、運転中に仕事関連の電話に出たことがある。(2020)
- ④ 約〇%の従業員が、職場でスマートフォンに気を取られることが多いと認めている。(2020)
- ⑤ 約〇%の親が、子供と過ごす時間より、スマートフォンに費やす時間の方が長いと感じている。(2020)

<保護者の感想>

この講座を聞いて、子供達が SNS の怖さ等に気付いてくれるとうれしいです。

<保護者の感想>

やる気スイッチを入れる方法については、ぜひ家庭でも試してみたいと思いました。インターネットの良い部分、悪い部分がよくわかりました。

<保護者の感想>

メリハリを付けながら、正しい使い方ができるよう、改めて確認しようと思いました。考える経験値を増やすこと、アンガーマネジメント等、興味ある内容でした。

上記調査の○の中に入る数字ですが、

①90 ②50 ③50 ④55 ⑤20 ということでした。

あくまで海外の調査ではありますが、インターネットやSNSとの関わり方について、子供の行動だけではなく、大人(保護者)の行動も考えていく必要があると感じました。

また、「部活動に参加するなど、生活にメリハリがあるとスマートフォン等に依存しにくい」という言葉が印象的でした。保護者としての関わりを増やししながら、インターネットやSNS以外の部分で、子供の生活の充実を図っていくことが必要ですね。

